

＝主に従えない人々＝

1. 主に従えない人その1:ネブカデネザル 自分を神としている絶対的権力者
ダニエルや3人のユダヤ人を通して主の奇蹟を見てきた(4:1)が、唯一の生きた神であることは知らなかった(ダニエル4:8)、しかし災いが起こり、自分で天を仰ぎ初めて主を知る。

2. 主に従えない人その2:ヤコブ 恐怖心から一歩踏み出せない人
主に従って故郷に帰るヤコブであったが、故郷が近付くにつれエサウに対する恐怖心(32:7)から主にゆだねられない。夜明けまでの長い格闘後、恐怖心から解放される(創32:24-26)。
ホセア書12:3-4

3. 主に従えない人その3:ユダとペテロ 人間的には情けないペテロと、人間的に責任を取った
ユダ

ユダ

マリアがナルドの香油を惜しげもなく注いだ時、社会的には正しいことを述べる(ヨハネ 12:4-5) 罪のないイエスを殺したと気づき、主を知ることなく自殺する(マタイ 27:3-5)。

ペテロ

主を三度裏切るが、主の目を見、触れられることで真に主の弟子となる。(ルカ 22:31-32、ルカ 22:60-61)

ポイント: 主はその頑固さに対していつも控え目。ヤコブに勝ちをゆずるほど。その控え目な主の声、見つめる目に気づくかどうか。